

【議 事】

肱川の減災に係る取組方針の確認

## 第15回 肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

### 【肱川の減災に係る取組方針の確認】

#### 関係機関の取組状況整理一覧表

※【第8版】に基づき作成

○脇川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

※緑文字は、流域治水プロジェクトで位置づけたソフト対策 減災協議会と重複

項目	事項	内容	関係の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町				内子町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
1)ハード対策の主な取組																								
■洪水を河川内に安全に流す対策(※流域治水の「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」と共通)																								
		【堤防整備、ダム建設・再生等の加速化】 ※特等事業 <脇川> ・小長浜箇所堤防整備 ・加世箇所堤防整備 ・玉川・舟越箇所堤防整備 ・如法寺箇所堤防整備 ・柚木箇所堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防嵩上げ ・沢久落川橋梁の箇所等 ・小倉・中尾・父・横野・追打下流・本郷・追打上流・菅田・村島・阿部坂野・池田成見工区の暫定的堤防整備 <久米川> ・久米川工区の堤防整備等 <特等事業以外> (脇川) ・河堤掘削 ・山鼻坂ダム建設 ・野村ダム改良 ・脇川かわまちづくり (夜間・夜間と連携した水辺空間の創出) ・橋梁改築撤去(矢落川橋梁) ・浸透対策 ・内水対策(排水機場) ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・野村工区の堤防整備等 ・脇川(河辺川合流点付近)の河床掘削及び河辺川岸線嵩上げ ・柚木・横野第二・藤の川・藤葉・大川・宇和川工区の暫定的堤防整備等 ・既存ダムの有効活用及び遊水地等の新たな洪水調節 ・堤防の確保に関する調査・検討 ・特定都市河川に向けた検討 (流域内河川) ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	M1, M2, M3, M4	実施中	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;">                         ※減災協議会の洪水を河川内に安全に流す対策と流域治水協議会の「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」と共通                     </div>																			
		(脇川) ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤防補強	M1, M2, M3, M4	実施中																				
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																								
		・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備 【流域治水】河川監視用カメラ、水位計の整備	C1, C7	実施中 ※一部機間は実施済み																	中小河川の治水対策のため、住民の避難体制の確保を図ることを目的に、県に対し危機管理型水位計の設置要望を行う	2019年度から検討	玉谷川へ危機管理型水位計を1か所設置(令和元年8月から運用開始)	【内容】 出水期には、きめ細かな水位監視に努め、迅速な避難行動に繋げる 【時期】 出水期中心
		・脇川減災対策計画に基づく排水路の整備	K2	実施中	脇川減災対策計画に基づき対応可能な箇所より排水路等の整備を実施	2018年度を目処	・田瀬地区(田瀬川)止水壁及び金場の設置を実施済み。 ・中村、柚木地区の排水路を整備済み。 ・西大洲地区他6地区7箇所のポンプ排水委託を実施。 ・2020年度より減災対策計画を推進し、新たに内水対策計画を策定。(2021年度完成)	【内容】 内水対策計画に基づき対策を実施。																
		・国管理区間については、避難行動に必要な映像提供を考慮した河川監視用カメラの配置計画を見直し(設置目的に応じた性能最適化・集約化等)、順次整備を実施。 ・県管理区間については、協議会の場等を活用して、河川監視用カメラ配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。 【流域治水】河川監視用カメラ、水位計の整備	E4	実施中 ※一部機間は実施済み																				
		・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討を実施	E4	実施中																				
		・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び避難路兼待避所としての活用運用整備 待避所整備 緊急輸送路整備	D2	実施中																				
		・水防活動の迅速化、水害対策に活用できるよう「土のうステーション」を整備	I2	実施済み	・家屋・店舗等の浸水を防ぐための土のうを予め備えるため、土のうステーションを3基設置。(300袋から600袋備蓄)	2016年度	・土のうステーション設置(2016.5.9)	【内容】 土のうの点検・補充																





○脇川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	観測の対応	取組の進捗状況	愛媛県				警察署				気象台				四国地整						
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定			
		計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	K4	実施中	計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討	2016年度から検討実施	検討中	必要に応じて施設強化を検討											計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	2016年度から検討実施	内水計画検討中。 排水ポンプ車1台を令和3年度から追加配備済み。	【内容】 樋門の施設強化については、順次検討を実施予定排水機場の整備については、補助整備の進捗を考慮しつつ令和3年度より検討を実施。 【時期】 樋門の施設強化は引き続き検討	
		フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 国管理区間においては、市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施	K2, K4, K5	実施中															フラップ化等の無動力化(国)を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 国管理区間においては、市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施	2017年度から検討実施	同市川排水樋門、栗津寺谷川樋門、後草樋門、加屋樋門、大河内樋門のフラップ化の設計済み。 山本排水樋門、山本排水樋門のフラップ化の工事完成済み。	【内容】 同市川排水樋門、後草樋門のフラップ化工事を実施中。 【時期】 2024年度2樋門のフラップ化が完了予定	
		住民に対して、的確に警報を伝えるため、市と連携しつつ、警報施設を改良する。	E13, E14	実施中															サイレン・スピーカー等の改良を2022に完了。 異常洪水時防災操作時のサイレン吹鳴パターンも変更(通常:60秒吹鳴10秒休止(5回×1セット)、異常洪水時防災操作時:10秒吹鳴5秒休止(15回×2セット))	2018年度から検討実施		【内容】 住民への周知を行うとともに、適切な運用を図る。	
		2018年の緊急点検を踏まえ、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消 国管理区間については、関係者が連携して、対策後における継続的な維持管理が可能な体制を構築	—	実施中	2018年の緊急点検を踏まえ、国管理区間の樹木・堆積土砂の除去作業を実施し、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消 関係者が連携して、対策後における継続的な維持管理が可能な体制を構築	2023年度までに実施 2019年度から検討実施	脇川、小田川などで樹木、堆積土砂の除去を実施(2018年度～2020年度)	引き続き実施。											2018年の緊急点検を踏まえ、脇川・矢落川の直轄区間のうち、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消	2020年度までに実施済み (2018～2019年度)	脇川で樹木伐採、堆積土砂の除去を実施済み。 (2018～2019年度)		
		2017年の緊急点検を踏まえ、土砂・流木捕獲効果の高い透過型砂防堰堤等を整備	—	実施中	上大谷川において土砂・流木捕獲効果の高い透過型砂防堰堤等を整備	2020年度までに実施	上大谷川 砂防堰堤2019年度完成	上大谷川 引き続き流路工を整備(2022年度完成予定)															
2)ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組																							
■情報伝達、避難計画等に関する取組																							
		避難行動等に必要の情報提供内容の検討及びその情報によるリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信及び連絡網の整備 【流域治水】 ダム放流等の情報やリスク情報提供の充実 水災害リスク情報空白地帯の解消	E1, E2, E3, E4, G1, G2, G3, G6	実施中 ※一部機関は実施済み	アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録者の増加	2016年度から順次実施	各種説明会等において、チラシの配布や説明を実施	引き続き実施											プッシュ型情報の発信 ライブ映像箇所の拡大 想定最大規模降雨による洪水を想定した情報提供内容の検討	2016年度から順次実施	緊急通報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を9/5より開始。 (2019.9.5) -DATVと連携してコラボチャンネルを配信(2020.2.25～) -YouTubeにて、野村ダム龍野川ダム、脇川橋、東大洲越流堤地点の映像を配信 -川の防災情報においてもCCTV画像が確認可能。 -内外水統合の水害リスクマップ作成	【内容】 内外水統合の水害リスクマップについて、関係機関と連携を深め、避難計画等へ活用。	
		避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施 毎年、出水期前に協議会において、市町等関係機関と水害対応タイムラインを確認 土砂災害における警戒避難体制を強化し、住民の避難に資するため、土砂災害に関する行動計画作成の取組みを支援するとともに、防災訓練を実施 【流域治水】 国・県・市が連携したタイムラインの運用 -河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練の実施	C1, C8, C9, C10, C11, C12, C13	実施中	国・市と協力したタイムラインの作成及び内容精査を支援 毎年、出水期前に協議会において、市町等関係機関と水害対応タイムラインを確認する	2016年度から実施 2019年度から実施	2019年5月 内子町と小田川タイムラインを作成 2019年5月 大洲市とタイムライン(曹田大川地区及び脇川中央・正山地区)を作成 2019年5月 西予市とタイムラインを作成	【内容】 内子町、大洲市、西予市及び関係機関とタイムラインを作成 【時期】 2019年度	関係機関が作成した、または作成するタイムラインによる訓練に参加する。	随時									タイムラインは作成済み(2016.3) -避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施 毎年、出水期前に協議会において、市町等関係機関と水害対応タイムラインを確認する	2016年度から実施 2019年度から実施	-警察とタイムライン詳細版の作成。 -上記のタイムライン詳細版を元に机上訓練を実施。(2019.2.25) -流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～) -流域対応タイムラインの運用の開始。(2020.6～) -自治体のマルチハザードタイムラインを作成。(2022.11) -読み合わせ訓練を実施。(2023.5)	【内容】 作成した流域対応タイムラインについて机上訓練を実施予定。 【時期】 訓練は毎年実施	
		計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	C2	実施中 ※一部機関は実施済み	国・市と協力したタイムラインの作成及び内容精査を支援	2016年度から検討実施	タイムライン策定検討会に参加し、支援を実施。	関係機関が作成した、または作成するタイムラインによる訓練に参加する。	随時											計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	2016年度から検討実施	計画規模降雨を超える洪水に関する基礎資料の検討を実施(2018年度) -流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～) -流域対応タイムラインの運用の開始。(2020.6～)	【内容】 作成した流域対応タイムラインについて机上訓練を実施予定。
		ダム放流量に応じた浸水想定区域の検討を行い、作成された浸水想定区域に基づき、各種計画の策定・見直しを行う	A3, A5, B2, C3, C4, C14, E11, G13	実施中	ダム放流量に応じた浸水想定区域の検討。 -周知方法や防災教育について再度見直す	2018年度から検討実施	検討中	引き続き検討												浸水想定区域周知方法等について、再度見直しを行う	2018年度から検討実施	2019出水期までにダム放流量(2,500m <sup>3</sup> /s、3,000m <sup>3</sup> /s)に基づく浸水想定区域図を大洲市に提供。 ※大洲市は脇川地区をダム放流量に基づき避難判断基準を作成	





○氈川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

※緑文字は、流域治水プロジェクトで位置づけたソフト対策 減災協議会と重複

項目	事項	内容	関係の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町				内子町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
		情報伝達手段の多量化した有効な伝達手段の選定	E1, E2, E5, E6, E7, E8, E9, G5	実施中 ※一部機関は実施済み	・情報伝達手段の多量化を検討及び地域に合った有効な伝達手段の選定 2015年度から検討実施	・防災行政無線の放送がスマートフォンから聞けるアプリの導入(2020年3月) ・市公式LINE等で避難情報等の提供開始(2023年5月)	【内容】 ・スマートフォンアプリの普及 ・引き続き情報伝達手段について検討。	・情報伝達手段の多量化を検討及び地域に合った有効な伝達手段の選定 2018年度から検討実施	・防災行政無線内容を新たにテレビ受像機のデータ放送「市町の広報」で伝達開始(R3.4.1より)	伊予市安全・安心メールと伊予市公式LINEアカウントを連携予定。	・情報伝達手段の多量化を検討及び地域に合った有効な伝達手段の選定 2018年度から検討実施	・防災行政無線の放送がスマートフォンから聞けるアプリ(2021年3月市役所へ開始) 2022年度より文字配信を開始(2023年) ・関係者等に共同開催した逃げ遅れアプリ(主に重要支那者の避難状況を一元的に把握するためのアプリ)との連携(音声及びテキスト)の配信を整備	(2024年～) ・アプリの配信普及、普及	・情報伝達手段の多量化を検討及び地域に合った有効な伝達手段の選定 2018年度から検討実施	・防災行政無線のデジタル化に併せて電話応答サービス開始(R3.4.1から) ・防災行政無線内容をテレビ受像機のデータ放送「市町の広報」で伝達開始(R3.4.1から)	【内容】 町ホームページ更改に併せて、有効な情報伝達手段を検討 【時期】 2024年度以降	・情報伝達手段の多量化を検討及び地域に合った有効な伝達手段の選定 2018年度から検討実施	登録制メール配信システム構築	登録制メール配信システム整備					
		洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施	D7, D8, D9, D10, D11	実施中	・洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施 2018年度から検討実施	・避難行動要支援者へ個別計画作成の案内(2020年12月) ・避難者等関係者へ個別避難計画の提供(2021年度から)	【内容】 個別避難計画の作成実施 【時期】 引き続き実施	洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施 2018年度から実施	・要配慮者施設避難確保計画の作成実施 ・避難行動要支援者個別避難計画の作成実施	【内容】 引き続き実施 要配慮者施設避難確保計画の作成実施 避難行動要支援者個別避難計画の作成実施 【時期】 引き続き実施	・洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施 2018年度から検討実施	現在作成済みの西予市総合防災マップには、土砂災害、洪水等の各種ハザードを統合表示。	2018年度から検討実施	・避難訓練や避難経路の確保等については引き続き検討	・洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施 2018年度から検討実施	要配慮者利用施設において、施設・避難確保計画の策定(4施設)	【内容】 訓練等を通じ、計画内容を随時見直すなどの支援 関係機関と連携した訓練の支援 【時期】 随時	・洪水・土砂災害における情報伝達の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施 2018年度から検討実施	【内容】 関係機関と協議 【時期】					
		スネークラインの公表等の土砂災害警戒情報を補足する情報に関する先進的な取組事例を協議会等の場を通じて都道府県に共有	—	実施中																				
		ダム放流情報を考慮した避難情報発令基準への見直し	B3, B8, B9, E10, E13, E14, E15, E16, E17, G6	実施中	・河川の基準水位等とダム放流量との関係整理 2018年度から検討実施	・氈川地域における避難情報発令基準にダム放流に基づき基準を創設し、住民周知を行う。(2019年5月) ・後野川ダム操作規則案に併し見直し(2024年6月)	引き続き避難情報発令基準の周知に努める。	・河川の基準水位等とダム放流量との関係整理 2018年度から実施				・野村ダム放流情報を踏まえた避難情報の発令基準を、野村地区タイムライン作成時に創設。(2019年(2024年) ・野村ダム操作規則案等を踏まえ、変更後の操作規則に併し避難情報発令基準に見直しを行う。 関係者共有会議を開催し意見聴取 →11月1日付で新・避難情報発令基準を運用(野村地区タイムラインに明記)	【内容】 タイムライン検証訓練の結果等を踏まえ、ドリラーの見直しと住民周知を引き続き行う。 【時期】 随時											
		避難情報発令に際するダム情報の提供の充実	B3, B8, B9, E10, E13, E14, E15, E16, E17, G6	実施中																				
		ダム放流等の情報やリスク情報の提供の充実	B3, B8, B9, E10, E13, E14, E15, E16, E17, G6	実施中	・防災行政無線による緊急放送内容の見直し ・防災行政無線・テレビ・ラジオ・スマートフォン等を活用したダム放流等の情報提供 ・市WEBへのダム関係諸量データの表示 2018年度から検討実施	・防災行政無線の放送がスマートフォンから聞けるアプリの導入。 ・市HPにダムの詳細情報が見れるサイトへのリンクを掲載 ・情報提供の多量化に関する検討実施。 ・市公式LINE等で避難情報等の提供開始(2023年5月)	【内容】 ・スマートフォンアプリの普及 ・市HPのダムの詳細情報が見れるサイトの周知。 ・情報提供の多量化に関する検討の継続。 【時期】 引き続き実施	・防災行政無線による緊急放送内容の見直し ・防災行政無線・テレビ・ラジオ・スマートフォン等を活用したダム放流等の情報提供 ・市WEBへのダム関係諸量データの表示 2019年度実施				・野村ダム放流情報を踏まえた避難情報の発令基準を、野村地区タイムライン作成時に創設。(2019年(2024年) ・野村ダム操作規則案等を踏まえ、変更後の操作規則に併し避難情報発令基準に見直しを行う。 関係者共有会議を開催し意見聴取 →11月1日付で新・避難情報発令基準を運用(野村地区タイムラインに明記)	【内容】 タイムライン検証訓練の結果等を踏まえ、ドリラーの見直しと住民周知を引き続き行う。 【時期】 随時											
		水位周知河川に指定されていない氈川流域の県管理区間も含め、洪水時に直接市長等へ河川情報を伝える「ホットライン」構築の検討	B1, B4	実施中 ※一部機関は実施済み	・水位周知河川に指定されていない氈川流域の県管理区間も含め、洪水時に直接市長等へ河川情報を伝える「ホットライン」構築の検討 ・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認 2019年出水期まで	大洲河川国道事務所が実施する訓練の中でホットラインに係る訓練を実施 【内容】 連絡体制の確認及び訓練を引き続き実施 【時期】 毎年実施	水位周知河川に指定されていない氈川流域の県管理区間も含め、洪水時に直接市長等へ河川情報を伝える「ホットライン」構築の検討 ・出水期前に協議会において連絡体制を確認 2019年出水期以降	出水期前に協議会等において連絡体制を確認 【時期】 随時				・ホットラインの構築については合意済み。 2019年出水期まで	【内容】 協議会において連絡体制を確認(氈川ダム総合管理事務所とは必要時にweb会議接続とすることを決定) 【時期】 随時	出水期前に協議会等において連絡体制を確認 2019年出水期以降	出水期前に協議会等において連絡体制を確認	【内容】 水防協議会において連絡体制を確認 【時期】 毎年出水期前	・水位周知河川に指定されていない氈川流域の県管理区間も含め、洪水時に直接市長等へ河川情報を伝える「ホットライン」構築の検討 ・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認 2019年出水期まで	ホットラインの構築	【内容】 「出水期前に協議会において連絡体制を確認」 【時期】 毎年出水期前					
		大雨が予想される場合の事前の組織体制構築の仕組み検討	C5, C6	実施中 ※一部機関は実施済み	・派遣されるエソンの受け入れ 2018年度から検討実施	国土交通省からのエソンの受け入れ 引き続きエソンの受け入れを行う。																		
		必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。	B5, B6, B7, G4, G12	実施中	・必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。 2018年度から検討実施	・洪水対応演習において、情報伝達訓練を実施(2019.4.23)	引き続き内容、実施方法などを検討	・必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。 2018年度から検討実施	・洪水対応演習において、情報伝達訓練を実施(2019.4.23)	引き続き実施		・洪水対応演習において、情報伝達訓練を実施(2021.4.19～20) ・野村地区避難訓練において、関係機関とWEBによる訓練を実施。	引き続き実施 2020年度実施	・必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。 2018年度から検討実施	引き続き実施									
		県管理区間については、指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について検討・調整を実施し「取組方針」にまとめ、市町村の連携等に係る河川の内、未指定の河川において簡易な方法を活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供。毎年、協議会において、水害危険性の周知の実施状況を確認。	A2, A9, C1, D5, D6, G2, G7, G8, G9	実施中 ※一部機関は実施済み	・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討 2021年度を目途	・県管理区間部分の水位周知河川化に伴い、避難情報発令基準を創設し、住民に対し周知を実施 ・氈川危険水位等の実態を見直し(2024年6月)	引き続き実施	県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討 2021年度から検討実施	検討中			・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討 2021年度を目途	【内容】 住民への周知内容や方法を継続して検討 【時期】 2019年度	・毎年開催する水防協議会において、水害危険性の情報共有、重要水防所等のハザードの実施 ・危機管理型水位計による水位監視 2019年度	【内容】 住民への周知内容や方法を検討 【時期】 2019年度	出水期前 同左	引き続き実施	現在未指定の小田川について、指定以降は県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討 2021年度を目途	小田川(内子町知清～宿間川)について、浸水想定区域図を作成済み	県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討				









○脇川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	関係の対応	取組の進捗状況	愛媛県				警察署				気象台				四国地盤				
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
		ダム操作に関する地元関係者への周知	E2	実施中	国の説明会に関係各課が参加し、関係機関等へ周知	引き続き定期的に実施	野村ダム、鹿野川ダム放流周知会に出席	引き続き毎年出席											【内容】 放流警報周知会は継続実施 説明会は内容を改善しながら継続実施。 6/1から運用を開始する操作規程等の変更説明会を追加実施 【時期】 継続実施 【内容】 報道機関との意見交換会【時期】 継続実施		
		水害等への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会の実施 【流域治水】 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	B1、E3	実施中	要配慮者利用施設の備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施	2016年度	2016年12月・2018年6月実施	必要に応じて実施											要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施 2016年度 2016年12月実施 必要に応じて実施		
		各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において速やかに住民等に周知	A2	実施中 ※一部機関は実施済み	各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において速やかに住民等に周知する方法を検討	2017年度から検討	検討中	【内容】 周知方法を検討 【時期】 未定													
2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組																					
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																					
		水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団等からの河川監視情報の共有体制及び手段等の仕組みの再構築を検討 【流域治水】 消防団との共同点検等の実施	G11、H1、H4	実施中	市町へ管理委託している専門の操作点検時にあわせて地元水防団・専門操作員の連絡体制の再確認を実施。 水防団等からの河川監視情報の共有体制及び手段等の仕組みの再構築を検討	引き続き毎年実施	専門操作点検を実施 水防団との意見交換会	引き続き実施											水防団との伝達訓練 専門操作員との伝達訓練及び避難訓練 維持工事による特別監視訓練 水防団等からの河川監視情報の共有体制及び手段等の仕組みの再構築を検討 洪水対応演習 許可工事の点検 種別操作説明会 排水ポンプ車操作訓練 特別監視訓練 重要水防箇所点検を関係機関と連携し、出水期前に実施。 引き続き出水期前に実施		
		水防連絡会等による水防団との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し 水防連絡会等について、地域住民の参加や周知方法を検討 【流域治水】 消防団との共同点検等の実施	H1、H2、H5、HG	実施中	減災対策協議会の開催 重要水防箇所の精査・見直し 水防連絡会等について、地域住民の参加や周知方法を検討	毎年出水期前に実施	水防連絡会及び合同点検に参加 重要水防箇所の見直し、合同点検を実施	引き続き実施	減災対策協議会等に参加し、水防団等との共同点検等の実施 【松江直轄区間：大洲署対応】	【西予警察署】 2017年5月16日、松江・大洲川水防連絡会による重要水防箇所の点検を実施。 松江大規模氾濫に関する重要水防箇所現地確認に参加し、危険箇所の監視を実施(2023.6.1) 【大洲警察署】 2017年5月16日、松江・大洲川水防連絡会による重要水防箇所の点検を実施。 2019年5月31日、松江大規模氾濫に関する減災対策協議会 松江大規模氾濫に関する重要水防箇所現地確認に参加し、危険箇所の監視を実施(2019.5.20)	毎年出水期前に実施	出水期前の共同点検に随時参加する。							減災対策協議会の開催及び重要水防箇所の確認 水防団幹部との意見交換会 重要水防箇所の精査・見直し 水防連絡会等について、地域住民の参加や周知方法を検討	毎年出水期前に実施	減災協議会(幹事会)及び合同点検を実施 引き続き出水期前に実施
		水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施 水防資機材の把握と情報共有 通信手段の確保と安全確保の確保	I1、I5、I6、I7、I8、I9、I10、I11	実施中	水防従事者を対象に水防活動に用いられる各種水防工法について説明・実演を行う。 水防資機材の把握と情報共有	随時	大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練に参加 西予市消防本部に西予土木事務所水防倉庫の鍵を備え付け、連携している	引き続き参加											水防団、消防団の団員内、水防工法の指導育成を実施 水防資機材の把握と情報共有 自主防災組織による水防訓練の実施(2016.10.16) 大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練の実施 水防・減災ハンドブックを作成(2018.3)	毎年出水期前に実施	引き続き出水期前に実施
		水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	—	実施中	水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討支援	2017年度から検討	検討中	【内容】 検討実施 【時期】 未定											水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施 2017年度から検討実施 水防月間のチラシ内で水防団員募集の記事掲載 【内容】 引き続き啓発の実施 【時期】 毎年実施		
		大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	—	実施中	大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	2017年度から検討	検討中	【内容】 検討調整 【時期】 未定											大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整 2017年度から検討実施 流域の浸水想定区域図をとりまとめた資料を作成し、協議会において情報提供 引き続き実施		
		河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	I3、I4	実施中	河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し	2016年度から検討	検討中	【内容】 協議会等での支援体制の検討 【時期】 2019年度											河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討 2016年度から検討実施 水防資機材の必要量の検討を実施 【内容】 水防資機材の必要量について時点更新する 【時期】 2018年度以降順次更新		
		巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた監視計画の見直し及び専門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	H3、H6、H7、H8、K5、K9、K10	実施中	巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた監視計画の見直し及び専門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	2016年度から検討	関係機関との協議	【内容】 関係機関との協議・検討 【時期】 2018年度											巡視計画は適宜見直しを実施 2016年度から検討実施 専門操作員への説明会を実施 引き続き実施		
		計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町村等の円滑な水防活動等、活用方法を検討・調整	J1、J2	実施中	計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町村等の円滑な水防活動等、活用方法を検討	2016年度から検討	検討中	【内容】 検討調整 【時期】 未定											計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町村等の円滑な水防活動等、活用方法を検討 2016年度から検討実施 松江河川防災ステーションの卒業時の利活用について、大洲市と協議を行い、利活用計画を作成(2019.3.22) 防災ステーションの防災教育等への活用を図るため、パネル更新、流域図の床地図の設置済み。 【内容】 水防拠点の代替施設の検討を実施予定 【時期】 適時		







○脇川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	関係の対応	取組の進捗状況	愛媛県				警察署				気象台				四国地整					
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定		
		洪水貯留準備操作(事前放流)の充実を図り、より多くの容量を確保することを検討	L1, L2	実施中															【野村ダム】 ・2018年7月豪雨時に利水者から同意を得た250万m3の洪水貯留準備操作(事前放流)を継続(洪水調節容量350万m3と合わせて600万m3による洪水貯留) ・より一層の容量確保に向けて、利水者との協議も継続 ・今後の気象予測精度向上等が必要(アンサンブル予測等を用いての貯水位回復予測の精度を向上させることで、利水者の同意を争やすい環境を整備) ・貯水位低下速度の向上に向けて、貯水池安定性の確認や下流河川の影響を確認しつつ、より一層の容量確保に努める ・容量を有効に活用するための放流能力の増強の検討を行う	2018年度から検討実施	・600万m3の洪水貯留について、令和元年度は利水者と協議済み(脇川流域治水協定を令和2年出水期までに締結) ・より一層の容量確保に向けて利水者協議を行うとともに、貯水池安定性についても確認・検討を実施。 ・気象予測の精度確認に向けた検討継続。 ・ダム施設増強について検討実施。	【内容】 ・より一層の容量確保に向けて利水者協議を行うとともに、貯水池安定性について確認・検討を実施。 【時期】 継続実施
		「ダム検証等の場」の結果及び鹿野川ダム改進黨による増量された治水容量を有効に活用できるよう、ダム操作ルールを検討	L1	実施中															【野村ダム・鹿野川ダム】 ・鹿野川ダム改進黨の完了(2018年度)に合わせて、脇川流域全体に有益となるよう操作規則を変更 ・激特事業等によるダム下流の河道整備の進捗(概ね5年後)に合わせて、両ダムを有効に活用できるよう操作規則を変更	2018年度から検討実施	・鹿野川ダム改進黨後の野村ダム・鹿野川ダムの操作規則変更を令和元6月に実施済 ・河道整備の進捗に合わせて操作規則変更を検討。	【内容】 ダム下流河道整備の進捗に合わせた操作規則変更を検討 【時期】 河道整備に合わせて逐次検討
		ダムの安定的な容量確保(ダムのかさ上げや利水容量から洪水調節容量への代替等)による検討	L2	実施中															【野村ダム・鹿野川ダム】 ・ダムのかさ上げ、利水容量から洪水調節容量への代替等による洪水調節機能の増強について検討を継続	2018年度から検討	・脇川流域治水協定(事前放流)を令和2年出水期までに締結済み。 ・野村ダム増設改良にかかる本体工事を令和5年2月に契約締結済み。	【内容】 脇川流域治水協定を令和2年出水期までに締結済み。 ・地形・地質及び社会的条件等を整理して検討継続。 【時期】 令和2年度～

3) 地域経済を支える浸水対策の取組 ①地域経済を支える浸水対策(東大洲地区の生産性向上)

■地域経済を支える浸水対策に関する取組																							
		【堤防整備、ダム建設・再生等の加速化】 〈激特事業〉 〈脇川〉 ・小長浜箇所の堤防整備 ・加世箇所の堤防整備 ・玉川・只越箇所の堤防整備 ・如法寺箇所の堤防整備 ・柚木箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防かさ上げ ・沢尻川橋梁の陸橋等 ・小倉・中尾・父・堀野・追打下流・本郷・本郷・追打下流・菅田・村島・阿部坂野・池田成見工区の暫定的堤防整備 〈久米川〉 ・久米川工区の堤防整備等 〈激特事業以外〉 〈脇川〉 ・河道掘削 ・山島坂ダム建設 ・野村ダム改良 ・脇川かわまちづくり (復舊・復旧と連携した水辺空間の創出) ・橋梁改築撤去(矢落川橋梁) ・浸透対策 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・野村工区の堤防整備等 ・脇川(河辺川合流点付近)の河床掘削及び河辺川護岸かさ上げ ・柚木・堀野第二・藤の川、鎌業、大川、宇和川工区の暫定的堤防整備等 〈流域内河川〉 ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	M1, M2, M3, M4	実施中	〈激特事業〉 〈脇川〉 ・小倉・中尾・父・堀野・追打下流・本郷・追打下流・菅田・村島・阿部坂野・池田成見工区の暫定的堤防整備の完成 ・岩瀬川工区 脇川本川から約500mが完成 ・野村工区 約190mが完成 ・脇川(河辺川合流点付近)の河床掘削及び川辺川護岸かさ上げ429mが完成 ・柚木・堀野第二工区の暫定的堤防整備の完成 ・その他の工区については実施中 〈流域内河川〉 ・河床整正等による流下阻害箇所の解消 引き続き実施	2024年5月までに実施	2024年5月までに実施	2027年度までに実施 2019年度から検討	【内容】 〈脇川〉 ・目標時期内に完成するよう事業を推進 〈久米川〉 ・目標時期内に完成するよう事業を推進 〈流域内河川〉 必要に応じて実施									〈激特事業〉 〈脇川〉 ・小長浜箇所の堤防整備 ・加世箇所の堤防整備 ・玉川・只越箇所の堤防整備 ・如法寺箇所の堤防整備 ・柚木箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防かさ上げ完了 ・沢尻川橋梁の陸橋等 〈激特事業以外〉 〈脇川〉 ・河道掘削 ・山島坂ダム建設 ・野村ダム改良 ・脇川かわまちづくり (復舊・復旧と連携した水辺空間の創出) ・橋梁改築撤去(矢落川橋梁) ・浸透対策 ・堤防整備 ・内水対策(排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	引き続き実施	〈激特事業以外〉 ・東大洲より下流の暫定堤防かさ上げ完了 ・沢尻川橋梁の陸橋完了 ・中島箇所の浸透対策を実施済み。 ・都谷川排水機場設計実施中 ・脇川かわまちづくり実施中。	【内容】 ・目標時期に完成するよう事業を推進		
		【再掲】 ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	E3	実施中																			
		【再掲】 ・現状の河川管理施設の能力を上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	K1, K2, K4, K6, K7	実施中	・県管理区間における内水被害対策の検討	2018年度から検討実施	検討中	引き続き検討												・現状の河川管理施設の能力を上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	2016年度から検討実施	・計画規模及び想定最大規模降雨を想定した浸水被害に対する脇川防災計画書を作成。 ・計画規模洪水による浸水被害に対する排水計画(手続書)を作成	【内容】 適宜更新 【時期】 適宜更新